

令和3年第1回定例会

議案審査特別委員会における主な議案質疑

(3月12日、15日、16日及び17日開催)

議案審査特別委員会は議長を除く15名の委員で構成。

請願第2号

日本政府に、核兵器禁止条約に署名・批准することを要望する意見書採択を求める請願について

Q 核兵器禁止条約に至る経過の中で、この核拡散防止条約に対しては、どのような評価をしてきたのか、教えていただきたい。

A 核兵器禁止条約ができるまでは、この核不拡散条約、いわゆるNPT条約というものをてこに、世界の平和を希求してきたのだと思います。ただ、実際にこの条約ができて既に50年以上たつわけですけれども、それがほとんど進まなかった、核保有国の核軍縮が進んでこなかったことに特に軍事同盟に加わっていない国々が業を煮やして、もっとほかのアプローチをしないと世界の平和が保てない、核廃絶に本当に行き着かないのではないかという発想から、この核兵器禁止条約が生まれてきたという歴史的な経過だと私たちは認識しています。(請願者)



承認第2号

専決処分事項の承認を求めることについて<令和2年度かすみがうら市一般会計補正予算(第12号)>

【議案の概要】

令和2年度かすみがうら市一般会計補正予算(第12号)について、地方自治法(昭和22年法律第67号)第179条第1項の規定により専決処分したので、同条第3項規定によりこれを議会に報告し、承認を求めるものです。

Q 医療機関のワクチン接種の委託についての標準的な単価は。

A 医療機関で行います個別接種でございますが、国が示した単価は税込みで1回当たり2,277円になりまして、今回3万6700回分、一人2回打ちますので、1万8350人の2倍ということで予算を計上してございます。なお、個別接種・集団接種における医療機関等にお支払いする委託料につきましては1億2723万7000円を計上してございます。



議案第19号

令和3年度かすみがうら市一般会計予算

【議案の概要】

コロナ禍の影響のある中ではありますが、ポストコロナにおける感染拡大防止策と経済対策に重点を置き、昨年度比0.3%増の193億6千万円を計上いたしております。

Q スマートインターチェンジ事業に総額でどれぐらいお金をかけるつもりでいるのか。

A パーキングエリアを利用してスマートインターチェンジをつくるということに関して、国が採択をする、その準備段階調整に入るときの目安としては20億円程度という数字がございます。



Q 千代田神立ラインの利用状況は。

A 令和元年10月から運行が始まりまして半年間で3,871名の利用者がございました。令和2年度につきましては、令和元年度の数値を多少増加しているように報告がございます。今後はルートを変更することも視野に入れ、乗車人数を増やしていきたいと考えております。



Q 移住定住・結婚支援事業政策の財源について。

A 移住定住・結婚支援事業につきましては、令和2年度は608万6000円の計上でありましたが、移住者向けの支援としまして移住促進住宅取得支援補助金2779万円を新設することで、3423万1000円としており、462.5%、2814万5000円の増としております。移住促進住宅取得支援金につきましては、内閣府の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金というお金を使わせていただくことになっております。

Q 整備を予定している防災倉庫の規模は。

A 今回予定しております防災倉庫につきましては、JRコンテナ、これを流用したものでありまして、間口が約3.7メートル、奥行きが約2.4メートル、高さが2.5メートルほどのコンテナ式の防災倉庫を予定しております。

